ヘルスプロモーション スクールをめざして:

学校におけるヘルスプロモーションのガイドライン

（ヘルスプロモーションスクールの規約とガイドライン　第２版）

IUHPE
INTERNATIONAL UNION
FOR HEALTH PROMOTION
AND EDUCATION
www.iuhpe.org

ヘルスプロモーションスクールをめざして：
学校におけるヘルスプロモーションのガイドライン

学校は，子どもの健康と幸福を図る重要な役割を担っている。このことは，世界保健機構(WHO), ユニセフ (UNICEF), ユネスコ(UNESCO), 米国疾病予防管理センター(CDC), ヘルスプロモーション健康教育国際連合(IUHPE)等多くの主導的な国際機関によってその重要性が益々認識されてきている。この20年間で，「ヘルスプロモーティングスクール」「包括的学校保健」「子どもに優しい学校」「FRESHイニシアティブ」等様々な対策や実践プログラムが発展してきた。これらの取り組みは，学校全体で組織的に行われること,学校生活の全てが潜在的にヘルスプロモーションにとって重要であるという認識で共通している。これらの取り組みから，全ての子ども達を対象にした学校におけるヘルスプロモーションを目指すならば，授業として健康教育を行うのみでは十分でないことが明らかになった。

現在は，学校におけるヘルスプロモーションを再喚起するのに適切な時期である。学校教育と健康は，関係づけて理解されるようになってきており，このことは，国連ミレニアム開発目標における学校教育に関する声明でも言及されている。現在，世界の最も裕福な国と最も貧しい国の間の平均寿命に48年もの差があり，この健康を規定している社会的要因が，WHOの委員会によって注目されている。バンコク憲章では，健康については各国政府が中心的な責任を担うべきで，各国政府の役割は，健康部門に限定されるべきではないとした。さらに，子ども達がつながりを感じられる学校こそが，健康と公平な健康に効果的な影響を与えることができることが明らかにされてきた。この20年間で，政府，学校，非政府組織(NGO)，教員，保護者，子ども達に提供するべき効果的な学校保健プログラムについての多くの科学的根拠が示されている。そして，充分統合され，包括的で計画的な学校を核としたプログラムの方が，情報提供を主とした教室のみで実施されるプログラムよりも，健康面・教育面ともに建設的な結果を生み出すことが明らかになった。

本ガイドラインは，世界中の健康と教育の専門家の議論と協議の過程を経て作成された。そして，これまでに公表されている研究，科学的根拠，優れた取組に基づいて作成された。本ガイドラインは，教育と健康を担当する省庁学校，NGOやその他関連する団体や個人が学校におけるヘルスプロモーションをより効果的に計画的に取り組めるように，要約形式で示されている。この第2版ガイドラインでは，2005年に第1版が発表されて以後，様々な国際会議に出席した学校保健の政策と実践に携わる専門家の意見を取り入れている。本ガイドラインは，多忙な政策立案者に確実に役立つものを簡潔に提供するために，全ての参考論文の詳細までは掲載しないことにした。代わりに，重要な資料や学術論文を選定し，末筆に参考文献として掲載した。さらに詳細な関係論文については，International School Health Network (http://www.internationalschoolhealth.org) およびIUHPE (www.iuhpe.org) のサイトを参照されたい。

学校を核としたヘルスプロモーションの目的

- **教育効果の向上**
  健康は子ども達に，学習意欲・学力向上をもたらす。学校の主要な役割のひとつは，最大限の学習効果を生み出すことである。学校における効果的なヘルスプロモーション(HPS)は，学校において教育ならびに社会的目標を達成するために主要な役割を果たす。
- **認知面・社会面・行動面にわたる健康に関する知識やスキルの獲得による健康行動の促進**
  学校では，健康問題やその対策は，読み書きや計算等の重要な教育を補い，向上させると考えられてきた。HPS活動は，地域や社会全体の問題に対する知識や理解に必要な特定のあるいは広く全般的な能力を向上させ，情報を分析統合し，解決策を提言することを援助する。子ども達は，個人的そして社会的スキルやヘルスプロモーションに関連する行動を学習したり練習することによって，さらに学習を促進することができる。

ヘルスプロモーションスクールの原則
ヘルスプロモーションスクールは，

- ➡ 子どもの健康と幸福を促進する。
- ➡ 子どもの学習意欲・学力を向上する。
- ➡ 社会的正義や平等の概念を守る。
- ➡ 安全でサポーティブな環境を提供する。
- ➡ 子どもの参加とエンパワメントを促進する。
- ➡ 健康と教育の問題とシステムをつなぐ。
- ➡ 全ての学校関係者の健康と幸福に取り組む。
- ➡ 保護者や地域社会と連携する。
- ➡ 学校で行われている活動・授業・標準的評価の中に健康に関することを統合する。
- ➡ 正確なデータや正しい科学的根拠を基盤として現実的な目標を設定する。
- ➡ モニタリングと評価の継続を通して持続的な改善を図る。

学校におけるヘルスプロモーションの確立

以下の要素が，学校におけるヘルスプロモーション(HPS)をはじめる際に必須であるとされている。

- **政府及び地方自治体によるHPSを支持する方針の策定**
  国，地方，地域の機関によってHPSを支持する方針が掲げられれば，学校にとってHPSの概念を取り入れることは容易である。多くの国でのHPSの構想は，学校レベルからはじまり，後に国レベルでの政策として広まっている。
- **学校管理者や教育委員会のサポートの確立**
  HPSは，学校全体へのアプローチで，学校管理者や教育委員会からの継続的な支援と関与が必要である。
- **教職員・教職員以外の職員・児童生徒・保護者・地域住民を含む活動を積極的に主導し調整するための小グループの結成**
  HPSのための作業負担が分担され，全ての主要なグループが意思決定や実践に参加することで，HPSが推進される。多くの子どもや保護者の参加やアイデアが尊重されることが重要である。
- **6つの重要な要素から現在のヘルスプロモーション行動の検討**
  6つの要素のそれぞれについて，学校が現在行っていることを検討する。6つの要素に沿った概観を行うことは，適切なスタート地点となる。そのことが，全てのスタッフを巻き込むのであれば，健康問題と学校が取り組むべきことについての論議を引き起こすことができる。さらに，より多くのスタッフがHPSの確立に関与することを促進する。
- **目標の合意形成とそれを達成するための計画の確立**
  目標は現実的で，学校の資源で可能な範囲内の計画であることが必要。

- **ヘルスプロモーションスクール憲章の制定**
  ヘルスプロモーション憲章は学校の責任を表し，その地域で発展した原則を学校の方針として取り込む。憲章は，原則と目標を設定し，学校におけるヘルスプロモーションの支援を可能にする。多くの学校がこれらの特徴のすべてを強調できるように，わかりやすい場所に憲章を表示する。
- **関係スタッフと地域住民がプログラムを作成するための能力を発揮し,実践に生かす機会を確保する**
  HPSの作業では，関係スタッフが，学校における授業以外での活動も，授業での活動と同じように重要なことであると考えることが必要である。スタッフは，専門的なプログラム開発に参加し，他の人たちと一緒に学校で行っている内容を提示し，それを検討する機会をもつことが重要である。
- **記念日を祝う**
  全ての HPS は，例えばHPS 憲章の制定，子ども達による地域コミュニティーへの発表，新しい食に関する方針などについて等の特定の記念日をつくる。これらの記念日を祝うことは,学校と地域と機関の職員でHPSの概念を確認するのに役立つ。
- **特定の目標を達成するために3~4年間を見込む**
  HPSの確立は，時間の制限されたプロジェクトではない。これは変化の過程であり，健康的な学校を築く開発と改革である。すべてをすぐには変えられないが，現実に沿った目標と計画であれば，実質的な変化は3~4年で起こる。

学校におけるヘルスプロモーションの継続

次に挙げる要因が，最初の数年の努力と業績を，次の5-7年にわたって維持するのに必要であることが明らかにされた。

- 政府による継続的で積極的な関わりと実質的な支援の基に，ヘルスプロモーションの計画の継続的な実施と，改訂，モニタリングと評価を役割分担して確実に行う（健康に関する省庁と教育に関する省庁の間での提携強化が，効果的な方法である）。
- ヘルスプロモーションの全要素と活動を中核的な要素として，学校活動の中に取り込み，統合する。
- 学校内外でヘルスプロモーション活動に対する認識を高め維持する。
- スタッフと重要なパートナーに適切な能力の向上のための時間と資金を確保する。
- スタッフに健康と幸福を増進する機会を提供する。
- 3~4年毎に振り返りと改訂を繰り返す。
- 適切な資金の確保を続ける。
- ヘルスプロモーションの取り組みを概観し推進するために，リーダーを指名し，必要な人員を維持または増員して，グループを維持していく。
- 新しい，もしくは進行中の改善策について，関係するスタッフと子ども達みんなで検討し，実施に関与する。
- 教育部門が，ヘルスプロモーションを学校生活の統合的な部分として，適切なモニタリングの指標を用いる。
- 教育部門が，モニタリングにおいて学習意欲と学力向上をヘルスプロモーションの統合的な部分として捉え，適切なモニタリングの指標を用いる。
- ヘルスプロモーションを学校の子ども達の健康，福祉と教育に関連する他の取り組みと共に統合することを可能にする。

学校におけるヘルスプロモーションの基本要素

ヘルスプロモーションスクール(HPS)は，ヘルスプロモーションのためのWHOのオタワ憲章に基づいている。それには，以下のような６つの基本要素がある。

- **健康についての学校の方針**
  健康と幸福を促進するヘルスプロモーションが，文書化または実践の中で明確に定義されている。例えば，学校で健康的な食事を実践を可能にする方針やいじめを予防する方針など多くの方針を確立することが，健康と幸福を促進する。
- **学校の物理的環境**
  物理的環境とは，建築の設計と位置，自然光と適切な日陰，運動を行う為の空間の確保と学習および健康的な食事のための設備等の学校内と学校周辺の建物と土地と設備のことである。

  また,物理的環境には,病気の感染を予防する衛生的な環境の維持，安全な飲料水が利用可能であること,空気が清浄であること,環境に健康に有害な生物化学的汚染が無いこと　等の基本的な快適環境についても含まれる。
- **学校の社会的環境**
  学校の社会的環境とは，教職員と児童生徒，教職員間，児童生徒間の関係の質である。それは，保護者と地域住民との関係によっても影響を受ける。
- **個人の健康に関するスキルと実践力**
  これは，正式及び非公式の授業と関連した活動で，生徒が年齢相応の知識と理解とスキルと経験を持ち，地域で自分と他者の健康と幸福の改善へ働きかける力を育み，学習意欲・学力向上に繋がる。
- **地域の連携**
  地域の連携とは，学校と生徒の家族間の連携に加え学校と主要な地域のグループ及び個人間の連携を意味する。これらの主要な人々との適切な協議や協働参加が，ヘルスプロモーションを推進し，子ども達とスタッフに行動を支える環境と支援をもたらす。
- **ヘルスサービス**
  これらは，（特別な配慮を必要とする人たちを含め）子ども達に直接に介入することを通して，児童思春期ヘルスケアとヘルスプロモーションに責任を持つ地域の学校を基盤とした学校に関連した事業である。それらには，以下が含まれる。
  - 資格を持った医療従事者によるスクリーニングと診断
  - （カウンセリングを含めた）心理的支援を子ども達に行い，社会的・情緒的発達を促進し，知的発達と学習の障壁や情緒的・心理的ストレスと障害を予防あるいは減少し，すべての子ども達の社会的な対人関係を改善する

もし系統的に対処しなければ場合，学校におけるヘルスプロモーションの発展と持続性を阻害することになる要因

- 学校保健事業が短期間の計画として資金を供給され，非現実的な期待をもたらし，学校全体での取り組みとならない。
- ヘルスプロモーションの成果は長中期的に認められる。
- 評価は難しく，そして複雑である。
- しばしば健康部門への資金が，現代のヘルスプロモーションアプローチではなく，病気の罹患率と死亡率についての旧来の公衆衛生の課題へ限定される。
- 教育部門には固有の用語と概念があり，健康部門および他の部門と異なった意味を持っている。そして逆もまた同様である。　ある程度の時間，相互の提携と尊重が，共通の理解を形成するために必要である。
- ヘルスプロモーションの計画が教育の成果を改善できるという利点についての科学的根拠を教育部門に示す必要がある。

機能するもの

- ➤ 民主的で参加型の学校コミュニティーを発展させ維持する。
- ➤ 教育と健康部門の政策担当者間の連携を強化する。
- ➤ 子どもと親は，学校生活の中である種の帰属意識を持つ。
- ➤ 多様な学習と教育の計画を実践する。
- ➤ 学級活動や学級の組織化や調整のため，そして授業以外の活動のために適切な時間を配分する。
- ➤ 子どもの生活と地域の環境の中で健康問題を探究する。
- ➤ 教室の中での学習アプローチよりも学校全体での取り組みを用いた 方法を用いる。
- ➤ 教員等の学校スタッフに継続して能力を向上する機会を提供する。
- ➤ 学校コミュニティーの中で，開かれた，そして正直な関係性を育む優れた社会環境を創る。
- ➤ 学校全体および家庭と地域内で連携し一貫性のあるアプローチを行う。
- ➤ 明確な学校の目標を掲げ，強いリーダーシップと管理運営上の支援の両方を強化する
- ➤ 教員の基本的な役割を補完し，根拠のある理論的で正確で現実的な資源を提供する。
- ➤ 子ども達が社会的相互作用と教育目標に期待できる学校風土を確立する。

学校におけるヘルスプロモーションの主要文献

- Allensworth, D & Kolbe, L. (1987). The comprehensive school health program: Exploring an expanded concept. *Journal of School Health*, 57, 10, 409 -112.
- American School Health Association (2008) “Health Promotion Through Schools: The Federal Agenda” ASHA, Kent Ohio.
- Barnekow, V., Buijs, G., Clift, S., Jensen, B. B., Paulus, P., Rivett, D. & Young, I. (2006). “Health Promoting Schools: a resource for developing indicators”. IPC, WHO regional Office for Europe, Copenhagen.
- Blum, R., McNeely, C. & Rinehart, P. (2002). “Improving the odds: The untapped power of schools to improve the health of teens”. Center for Adolescent Health and Development, University of Minnesota.
- Clift, S. & Jensen B. B., (Eds.), (2005) “The Health Promoting School: International Advances in Theory, Evaluation and Practice”. Danish University of Education Press, Copenhagen.
- Greenburg, M., Weissberg, R., Zins, J., Fredericks, L., Resnik, H. & Elias, M. (2003).“Enhancing school based prevention and youth development through coordinated social, emotional and academic learning”. *American Psychologist* 58, 6-7: 466-474.
- Lee A. (2004). “Analysis of the main factors generating educational changes in Hong Kong to implement the concept of Health Promoting Schools.” *Promotion & Education*; XI (2): 79-84
- Lister-Sharp, D., Chapman, S., Stewart-Brown, S. & Sowden, A. (1999). “Health promoting schools and health promotion in schools: Two systematic reviews”. *Health Technology Assessment*, 3, 1: 207.
- Masters, G. (2004). “Beyond political rhetoric: what makes a school good”. *OnLine Opinion – e Journal of Social and Political Debate*.
- Moon, A., Mullee, M., Rogers, L., Thompson, R., Speller, V. & Roderick, P. (1999). “Schools become health promoting: An evaluation of the Wessex Healthy Schools Award”. *Health Promotion International*, 14: 111-122.
- Muijs, D. & Reynolds, D. (2005). “Effective Teaching: Evidence and Practice”. Paul Chapman Publishing. London.
- Patton, G., Bond, L., Carlin, J., Thomas, L., Butler, H., Glover, S., Catalano, R. & Bowes, G. (2006). “Promoting social inclusion in schools: A group-randomized trial on student health risk behavior and wellbeing.” *American Journal of Public Health*, 96, 9.
- Stewart-Brown, S. (2006). “What is the evidence on school health promotion in improving school health or preventing disease and specifically what is the effectiveness of the health promoting schools approach?” World Health Organization, Copenhagen.
- St Leger, L. Kolbe, L., Lee, A., McCall, D. & Young, I. (2007). “School Health Promotion – Achievements, Challenges and Priorities” in McQueen, D. V. & Jones, C. M. (eds.) *Global Perspectives on Health Promotion Effectiveness*. New York: Springer Science & Business Media.
- St Leger, L. & Nutbeam, D. (1999) “Evidence of effective health promotion in schools”. In: Boddy, D. ed. *The Evidence of Health Promotion Effectiveness: Shaping Public Health in a New Europe*. European Union, Brussels.
- Wells, J., Barlow, J. & Stewart-Brown, S. (2003). “A systematic review of universal approaches to mental health promotion in schools.” *Health Education Journal*, 103: 197-220.
- West, P., Sweeting, H. & Leyland, L. (2004). “School effects on pupils’ health behaviours: evidence in support of the health promoting school.” *Research Papers in Education*, 19, 31: 261-291.
- World Health Organization (1995). “WHO Expert committee on comprehensive school health education and promotion”. World Health Organization, Geneva.
- World Health Organization (1997) “Conference Resolution: The Health Promoting School- an investment in education, health and democracy”. WHO Regional Office for Europe, Copenhagen
- World Health Organization (2007) “Schools for Health, Education and Development: A Call for Action”. World Health Organization, Geneva.
- Young, I. (Ed.) (2002) “The Egmond Agenda”, in The report of a European Conference on linking education with the promotion of health in schools. IPC of the European Network of Health Promoting Schools, WHO Regional office for Europe, Copenhagen and NIGZ, Woerden, The Netherlands.
- Young, I. (2005). “Health promotion in schools – a historical perspective.” *Promotion & Education*, XII (3-5): 112-117.

IUHPE
INTERNATIONAL UNION FOR HEALTH PROMOTION AND EDUCATION
www.iuhpe.org

42, boulevard de la Libération
93203 Saint-Denis Cedex – France.
Tel: +33 1 48 13 71 20
Fax: +33 1 48 09 17 67 – E-mail: iuhpe@iuhpe.org

本文書は，開発途上国の非感染性疾患の予防の能力向上についてのCDC RFA DP07-708協力協定に基づき、米国保健社会福祉省の疾病予防管理センター(CDC)から，助成金を得て作成された。本文書における文責は著者のみにあり，必ずしもCDCの公式見解を代表するものではない。

表紙絵のタイトル:「わたしの学校」-ラトビアの子ども達の学校保健のコンセプト-（ラトビアZentenes小学校提供）

Graphic design: www.fredericvion.com